



看護キャリア開発センター通信 Vol.36

2022年1月発行



新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。
今年も2ヶ月毎にセンター通信を発行させていただきます。それでは、2021年11月12月の看護キャリア開発センターの活動についてご報告します。

看護師特定行為研修指導者講習会

特定行為研修制度の趣旨を理解し、指導に必要な知識と指導方法を修得することを目標に、11月6日(土)特定行為研修指導者講習会を開催しました。webでの開催ということもあり、山梨県や熊本県など全国各地から医師や看護師48名のご参加がありました。オンラインでのグループワークでは本学特定行為研修実務委員の方々からファシリテーターとして参加していただきました。活発な意見交換ができ、多くの参加者の方々から高評価をいただきました。



講義中の画面

講師の先生とスライド画面

ファシリテーター



グループワーク中

司会進行

第2回看護キャリア支援座談会

ゲストスピーカー



キャリア座談会の様子

11月8日(月)2回目の看護キャリア支援座談会を開催し、オンラインと現地で合わせて26名のご参加がありました。今回は「悩める看護師の視野を広げる学び・働き方について聞く」をテーマに、HCUの伊東看護師、11階西病棟の岡本副看護師長、看護部管理室の中島副看護師長にお話をいただきました。大学院への進学を決めたきっかけや学業と仕事の両立などの経験談は、進学を検討している参加者もおられたので、とても参考になったという意見をいただきました。また副看護師長の経験として、スタッフや上司に支えられながら仕事もプライベートも全力で楽しんで来られたことや、保健看護学部教員として出向された実際のところなど、多方面のお話を聞くことができました。参加者からは「今後のキャリアの参考になりました」や「3名の看護に対する熱量が伝わり、ポジティブな気持ちになれた」という感想を多数いただき、モチベーションアップにも繋がる機会となりました。

特定行為研修共通科目実習

12月に第6期生の共通科目実習が終わりました。

特定行為研修共通科目は、放送大学で講義・演習の単位を修得後、本学で7日間の実習を履修します。臨床推論や医療面接のロールプレイを実施したり、身体診察スキルについて学びました。臨床推論の演習で受講生は、患者の訴えや症状から診断を絞り込むプロセスに苦戦していましたが、医師の思考パターンを知ることでアセスメント力や臨床推論力が強化されたようです。また、問診やフィジカルイグザミネーション等、改めて基礎を学び直し、普段実践できていないところを実感していました。さらに医療安全学や倫理、役割開発など、特定行為をおこなう看護師として必要な知識や技術、態度について学びました。受講生全員が共通科目のOSCEを無事合格し、4月からは区分別科目の実習が始まります。



フィジカルアセスメントの講義・演習



グループワークの様子



臨床推論の演習



PPEの着脱演習



特定行為研修についてご興味のある方はいつでもお気軽にご相談ください。

看護支援室と看護キャリア開発センターは別組織となっております
(お部屋は隣同士です)



【発行】看護キャリア開発センター
内線 3276 1月担当:石垣